

科目名 (英)	現場トレーニングⅠ (Intern trainingⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大海いくみ、鈴木広大 石丸美佐子、下川智、荒木海星、柳田 凌央
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
		曜日・時間	集中(月1.2限/水曜3.4限)				
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働いているヘアメイクアーティストからメイクの知識、技術を学ぶ。色、形、質感、ツール、ブラシワーク等、メイクを施すにあたり、必要な専門知識を基礎から知ることによって様々なデザインを円滑に美しく施術する技術を習得する。							
<講師経歴> <秋本>外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、広告、バックステージ(国内・外)、パーソナルメイクサロンとして現役で活動。 <鈴木>美容部員(ARMANI)2年間。現役フリーランス(メンズ、ステージメイク等) <石丸>海外2店舗国内2店舗を経験したのち帰国。有名アーティストなどのヘアメイクや講師業を15年以上有した経験豊富な講師。 <下川・荒木・柳田>現在も美容室でスタイリストとしてお客様対応をしている講師が、現場で使える技術・知識を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
基礎的な技術をさらにブラッシュアップし、現場で即戦力となるレディースだけではなく、メンズメイクのトレンドメイク技術を身につける事が出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	メンズメイク【ベースメイク＋アイブロウ】						
2	メンズメイク【ポイントメイク】						
3	トレンドメイク【2025 SS】						
4	トレンドメイク【チークフォーカス】						
5	トレンドメイク【韓国カラーメイク】						
6	シャンプー台になれる、ハンドドライ、デンマンブラシによるブローの体得、シルエットの理解						
7	ブロー、ストレートアイロンを使ってスタイルを完成させる						
8	シャンプー台になれる、ハンドドライ、デンマンブラシ、ロールブラシを使って仕上げる						
9	編み込み、裏編み込み、フィッシュボーン、四つ編み、片編み込み、裏編みを使ってスタイルを仕上げる						
10	テスト					60点	
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)／B評価(80～89点)／C評価(70～79点)／D評価(60～69点)／E評価(出席不良・評価資格喪失)／F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
				1			

科目名 (英)	ベーシックヘアⅠ (Basic hair makeupⅠ)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	石丸美佐子／武富帆乃花
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜3,4限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働く講師よりトレンドを学びながら基礎の土台を固める。 ウィッグを用いてはじめての技術を練習した後、プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を習得する。 〈講師経歴〉 石丸 海外2店舗、国内2店舗を経験した後帰国。有名アーティストなどのヘアメイクや講師業を15年以上有した経験豊富な講師が担当。海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信していきます。 武富 ・2022年に美容学校を卒業後、サロンに就職し、K-POPアーティストや俳優のメンズヘアメイクアシスタントをしながら、サロン業務に従事。 ・2023年よりフリーランスのヘアメイクとして活動を開始。女性アイドル、男性・女性声優、Z世代向けファッションショー、eスポーツ、ドラマ撮影などのヘアメイクを担当。 ・2024年6月よりTOKYOLOGICに所属し、eスポーツ関連の案件をメインに、女子高生ミスコン、映画撮影、女性アイドル、男性・女性声優、アパレル撮影などに携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る力を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ヘアの基礎知識、道具の名前や頭の名称などの専門用語を学ぶ セッティングをしてブロッキング・スライス・三つ編み・編み込みを実践してウィッグに慣れる						
2	一束ゴム結びの技術を習得する						
3	ピンの特性を理解する						
4	ピンニングの技術を習得する						
5	シニヨンスタイルを習得する						
6	1～5で習得した技術を用いてスタイルを完成させる 中間テスト練習						
7	1～5で習得した技術を用いてスタイルを完成させる					中間テスト40点	
8	ホットカーラー技術を習得する						
9	夜会巻きスタイルを完成させる						
10	8～9の復習						
11	顔型に合わせたヘアスタイルを学ぶ						
12	流行りの小枝テクニックを習得してスタイルを完成させる						
13	流行りの小枝テクニックを習得してスタイルを完成させる						
14	1～13までの技術を用いてスタイルを完成させる 定期テスト練習						
15	1～13までの技術を用いてスタイルを完成させる					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ベーシックメイクⅠ (basic makeupⅠ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大瀬順子／木浪亜美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 1,2限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
講師はそれぞれヘアメイク現場経験を有する。様々な活用できるメイクアップ技術や、知識を基礎から学び習得する。							
〈講師略歴〉 大瀬:外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。ファッションショーのバックステージやMV、CM等のメイクにも携わる。 木浪:外資系化粧品ブランドにて15年以上メイクアップアーティストとして実務中。メイクスキルの指導やマネジメントにも携わっている。							
【授業を通じての到達目標】							
JESC検定合格を目指し、メイクアップを行うための衛生や基本の理論・技術を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
テキスト『Basic Make Up』、メイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業内容の確認と教材確認、テーブルセッティングとスキンケア手順を実践し習得する						
2	スキンケア手順の復習と、ベースメイクの手順や技術を学び習得する						
3	スキンケア手順からベースメイクの復習と、リップのプロポーションを理解し技術を学ぶ						
4	スキンケアからベースメイク、リップを復習しアイブロウのプロポーション理解し技術を学ぶ						
5	スキンケアからベースメイク、リップ、アイブロウを復習しアイメイクの技術を学ぶ						
6	スキンケアからベースメイク、リップ、アイブロウ、アイメイクまでの一連の手順を習得する						
7	スキンケアからアイメイクまでの手順と技術 中間テスト					中間テスト 40点	
8	ハイライト、シェーディング、チークの技術を学びフルメイクが出来るようになる						
9	ポイントメイクの苦手強化 苦手パーツを克服し習得する						
10	タイムトライアル フルメイク 50分 時間内にフルメイクができるようになる						
11	タイムトライアル フルメイク 45分 時間内にフルメイクができるようになる						
12	タイムトライアル フルメイク 40分 時間内にフルメイクができるようになる 服装規定確認						
13	タイムトライアル フルメイク 35分、30分 時間内にフルメイクができるようになる 服装チェック						
14	JESC検定 模擬試験 フルメイク30分 検定と同じ規定で実践する						
15	定期テスト課題を時間内に完成させる					定期テスト 60点	
【特記事項】					【評価について】		
初回持ち物: メイク道具一式、グレートオル、テキスト『Basic MakeUp』、iPad 名前ペンor名前シール、筆記用具、鏡拭く用雑巾 髪まとめる用ヘアゴム(ヘアクリップNG)、アメリカピン4本 JESC検定本書: 8月6日(水)					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	ベーシックメイクⅡ (Basic makeupⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大海いくみ／鈴木広大
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日 3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
実際に現場で働いているヘアメイクアーティストからメイクの知識、技術を学ぶ。色、形、質感、ツール、ブラシワーク等、メイクを施すにあたり、必要な専門知識を基礎から知ることによって様々なデザインを円滑に美しく施術する技術を習得する。 〈大海〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、広告、バックステージ（国内・外）、パーソナルメイクサロンとして現役で活動。 〈鈴木〉美容部員（ARMANI）2年間。現役フリーランス（メンズ、ステージメイク等）							
【授業を通じての到達目標】							
メイクの基礎技術だけでなく、スチール撮影や、コンテストに向けて必要な応用的な技術、デザイン力、バランスを身につけられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回							テスト配点
1	色の知識と基礎技術を習得 【コンシーラー（色選び）ベースメイク】						
2	色の知識と基礎技術を習得 【アイブロウ】						
3	色の知識と基礎技術を習得 【チーク・リップ】						
4	形の知識と基礎技術を習得 【アイシャドウ】						
5	形の知識と基礎技術を習得 【アイライナー・ビューラー・マスカラ】						
6	中間テスト練習 【コントゥアリング+練習】						
7	中間テスト						40点
8	色の作り方 【ペイント、ベースの使い方・色の混ぜ方】						
9	質感の知識と基礎技術を習得 【All ツヤ】						
10	質感の知識と基礎技術を習得 【マット】						
11	質感の知識と基礎技術を習得 【パール】						
12	色・形・質感の組み合わせ方を習得 【ツヤ+マット】						
13	色・形・質感の組み合わせ方を習得 【モノトーンメイク】						
14	色の組み合わせ方を習得 【補色】						
15	定期テスト						60点
【特記事項】				【評価について】			
				●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ベーシックヘアⅡ (Basic hair makeupⅡ)	必修 選択	必修	年次	Ⅰ	担当教員	石丸美佐子／下川智／柳田凌央／荒木海星
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜1、2限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場でのヘアメイクを想定した基礎のヘアースタイルについての技術と理論を習得する。							
〔講師経歴〕 [石丸] 海外2店舗、国内2店舗を経験した後帰国。有名アーティストなどのヘアメイクや講師業を15年以上有した経験豊富な講師が担当。海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信している。 [下川] 美容師歴28年 サロンで実務経験を積み店長としてサロン運営を行い、その後TAYA本社教育部でディレクターとして現在も従事している。 [柳田・荒木] 現在もTAYAでスタイリストとして従事している。							
【授業を通じての到達目標】							
実際に人に施すヘアを想定し、相モデルを中心とした実技授業にて、基礎技術と知識、ヘアプロダクト(スタイリング剤)の使用方法を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロンの技術を習得する						
2	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロンの復習						
3	ブロー、ストレートアイロン、ピンニング技術を使いスタイルを完成させる						
4	1～3までの復習 パートバリエーション、スライスに合わせたコームの使用方法を習得する						
5	編み込み、裏編み込み、片編み込み、片裏編み込み、フィッシュボーン、四つ編み技術を習得する						
6	中間テスト練習(編み込み、裏編み込み、片編み込み、片裏編み込み、フィッシュボーン、四つ編み)						
7	中間テスト(編み込み、裏編み込み、片編み込み、片裏編み込み、フィッシュボーン、四つ編み)					中間テスト 40点	
8	ダウンスタイル根本ブロー、ストレートアイロン毛先カールの技術を習得						
9	コテ技術の習得、モヒカンスタイルの練習						
10	ハーフアップスタイル、ヘアスタイルに合わせたブロー						
11	モデルに合わせたハーフアップスタイル、顔まわりのづくりこみ 前回の復習						
12	編み込みバリエーションの習得 (くずし、タイトロープ、タイトロープくずし)						
13	モデルに合わせた編み込みバリエーションスタイル 似合わせと編み込みバリエーションの復習						
14	定期テスト練習						
15	定期テスト					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】 ●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅰ (Professional seminarⅠ)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	今井リカ／菊地 莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 水曜3、4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る。 ビューティアドバイザーとしてお客様への商品説明、提案、リタッチ、販売に従事してきた講師が担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時にteams共有				毎授業時にteams共有			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	4月16日 入学式を終えて振り返りと目標設定/サポートアンケート						
2	4月16日 ヘアメイクの仕事・業界を知る①(自己紹介) ビーサイド 佐藤様導入						
3	4月23日 U-CAMP導入						
4	4月23日 U-CAMPを生かし美容業界について知る(美容分野の業種を調べ、業界についての理解を深める) ITリテラシー						
5	5月7日 自己理解・他者理解を深める(思考ゲームを通して他人の考え・価値観の違いを学ぶ) コラージュ作成 学スタ						
6	5月7日 コラージュ発表						
7	5月28日 言葉使い、礼儀について(ジャパニアス)						
8	5月28日 現場実習・就職活動に対応できる「大人の言い回し」を学ぶ						
9	6月11日 グループ実習(撮影に向けて)、中間テスト					40点	
10	6月11日 グループ実習(撮影に向けて)JESCメイク検定筆記対策①						
11	6月25日 3つの良い習慣					今井先生	
12	6月25日 自分の「好き」について知る・調べる・作る(デザインの分布を学び、理解する)						
13	7月9日 自分の「好き」についてにプレゼンする(デバイスを使用し、効果的に発表する)						
14	7月30日 1～13回目授業の振り返り授業(全授業の振り返りを行い、復習をする)ベルリン						
15	7月30日 定期テスト(60点満点)・後期に向けて(前期の振り返りをし、自分の成長について考える)ベルリン					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 直雅
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 集中 木曜日1限～4限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ヘアメイクアシスタントとしての知識・スキルを学ぶ。 ・ヘアメイク業界の仕組み ・ヘアメイクアシスタントとして現場で役に立つためのスキル ・ヘアメイクが関わる媒体の知識 ・就職活動のサポート							
＜教員経歴＞ ヘアメイク事務所、株式会社ビーサイド代表。 ヘアメイクのマネジメントオフィスとして33年前に設立し、20名程のヘアメイクアーティストが在籍。自身もヘアメイクアップアーティストとして広告、音楽、芸能、出版、ブライダル業界等で幅広く活躍しながら、後進の育成にも力を注いでいる。そして、在学中からヘアメイクアシスタントを育成する教育及び、ヘアメイク現場経験ができる機会を与える。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアシスタントとして現場で臨機応変に動けるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎に資料配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	自己紹介						
2	業界理解 ヘアメイクについて						
3	道具見せ・お直しバッグ中身説明						
4	ヘルプについて・デモンストレーション						
5	現場でのネイル・ハンドマッサージについて						
6	広告業界について						
7	現場実習について						
8	音楽業界について						
9	業界用語について						
10	テレビ業界について						
11	映画・ドラマ業界について						
12	芸能界について						
13	作品撮影について						
14	振り返り・就職活動について						
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	オリエンテーション・導入教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井リカ／菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 集中 指定期間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1							
2							
3							
4							
5							
6	【授業単元】 スケジュール・ルール確認・職員紹介・講師紹介						
7							
8							
9	【到達目標】 年間のスケジュール管理ができるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る 学校の校舎や教室の使い方を理解する						
10							
11							
12							
13							
14	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 教材理解 教科書理解						
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	相互支援演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井リカ／菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
学校行事に向け、クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する							
〈教員経歴〉 美容業界で活躍後、本校に従事している。							
【授業を通じての到達目標】							
・競技参加種目を決める ・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定						
2	【到達目標】						
3	クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める						
4	小テスト・中間テスト:事前準備の積極性にて評価 40点満点						
5	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する						
6	【到達目標】						
7	各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。						
8	【定期テスト】 当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価60点						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界研究Ⅰ (business world analyse)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井リカ／菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事をイメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り 【到達目標】ヘアメイクの仕事をトータルな視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	デザインイラスト演習Ⅰ (Sketch Basic)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	佐々木さをり
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
多方面で活躍するヘアメイクアーティストから、実際の仕事でも活用することができるフェイスチャート(メイク)とイラスト(ヘア)の描き方を基礎から教わることで、様々なデザインをより明確に第三者に向けて伝えるためのイラスト技術を習得する。							
〈講師経歴〉							
SHISEIDO、アルビオン、デコルテ、エレガンス、カバーマークなどコスメアドバイザーを多数経験、コスメコンシェルジュ、コスメマイスター、コスメティックアクターなど多数の資格を保有、カラーアナリストアカデミーにて本部講師を担当。現在も店頭でコスメアドバイザーとして活躍中の講師							
【授業を通じての到達目標】							
各授業デモンストレーション時のメモと、スチール撮影、コンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方(電子&メイク道具)を習得し、様々な業種、アプローチ方法の選択肢を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad、シャーペン、消しゴム、アイシャドウパレット、リップパレット、アイブロウペンシル、アイライナーペンシル、リップペンシル、リキッドアイライナー、コットン、綿棒、ティッシュ、メイクブラシャー式、シャープナー							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	5月21日 ①フェイスチャートを描くポイント説明・デモンストレーション(ナチュラルメイク)						
2	5月21日 ファンデーション、アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー、リップを使用してフェイスチャートを仕上げる					10点	
3	6月4日 ②フェイスチャートを描くポイント説明・デモンストレーション(キュートメイク)						
4	6月4日 ファンデーション、アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー、リップを使用してフェイスチャートを仕上げる					20点	
5	6月18日 ③フェイスチャートを描くポイント説明・デモンストレーション(クールメイク)						
6	6月18日 ファンデーション、アイブロウ、アイシャドウ、アイライナー、リップを使用してフェイスチャートを仕上げる					20点	
7	7月2日 ④期末試験対策 フェイスチャート イメージメイク						
8	7月2日 定期試験 メイクフェイスチャート(メイク道具)					50点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●中間テスト40点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	着物着付け演習 (kimono)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 由香
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 授業内容 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着ることができるようになる。 自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を習得する。 講師は、個人事業主として着付け・組みひも教室を開業し、成人式や入学式、卒業式などには着付け師としての業務を行っている。							
【授業を通じての到達目標】							
一人で着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結びができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	8月21日 着付け前の着物の準備の仕方を覚える(小紋の着付け)					小テスト 20	
2							
3							
4							
5	8月22日 帯結び名古屋帯の準備の仕方から一重太鼓の結び方 帯あげ帯じめまで鏡を見ないでできるようになる					中間テスト 20	
6							
7							
8							
9	8月23日 帯あげ帯じめまで鏡を見ないでできるようになる					定期テスト 60	
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	メイク技術理論 (make technique ligo)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大瀬順子
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
							曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
メイクの基本技術を習得する検定に合格する為に、集中講座を開講する。 外資系商品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。ファッションショーのバックステージやMV,CM等のメイクにも携わる。メイクアップアーティストとして実務しながら美容師免許を取得し、現在はメイクだけではなくヘアメイクも行っている。その経験をもとに、現場で求められる最新の技術・知識を提供する。								
【授業を通じての到達目標】								
メイクアップにおける技術理論を理解し、JESCメイク検定に合格できるレベルに達する。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
テキスト								
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	7月16日【授業単元】身だしなみ、道具、立ち位置、ベースメイクにおける理論 【授業単元】ポイントメイクにおける理論、皮膚構造、顔面骨格の知識							
2								
3	8月6日 JESCメイク検定実技							
4								
5	8月6日 JESCメイク検定学科							
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
【特記事項】					【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	総合演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井リカ／菊地莉奈
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2年生の学内コンテストを見学し、自身の1年後を具体的に想起させる							
【授業を通じての到達目標】							
コース選択後の自分と照らし合わせることで学習に対するモチベーションを高める							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】コンテスト見学の目的を理解する、本日の競技内容の説明						
2	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する						
3	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える						
4	【授業単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
5	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】本日の競技内容の説明						
6	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する						
7	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える						
8	【授業単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			